

I. JST国際シンポジウム「北京シンポジウム」概要

(1) 開催日：

平成 15 年 11 月 11 日(火)

(詳細は別添 1「JST北京シンポジウムプログラム」のとおり。)

(2) 開催場所：

新大都飯店 (中国北京市西城区車公庄大街 21 号)

(3) テーマ：

日中科学技術協力 -科学技術と環境-

(詳細は別添 2「JST北京シンポジウムの概要」のとおり。)

(4) 参加者：

参加者総数	186 人
招待者(委員・講演者)	14 人
一般参加者	163 人
事務局 (JST・JISTEC)	9 人

(詳細は別添 3「JST国際シンポジウム参加者リスト」のとおり。)

(5) 北京シンポジウム推進委員会：

委員長：(財)地球環境産業技術研究機構副理事長	芽 陽一
委員：東京大学大学院工学系研究科教授	定方 正毅
立命館大学大学院政策科学研究科教授	周 緯生
(株)荏原製作所海外事業統括副統括	田米 智加之
筑波大学農林工学系長・教授	前川 孝昭 (敬称略)

J S T 北京シンポジウムプログラム

2003 (平成 15) 年 11 月 11 日 (火)

- 9:00～9:20 開会挨拶 (各 10 分) 同時通訳 (日中) 以後同様
- 1) 日本側 沖村 憲樹 独立行政法人科学技術振興機構理事長
 - 2) 中国側 馬 頌徳 中国科学技術部副部長
- 9:20～10:20 基調講演 (各 30 分)
- 1) 日本側 有馬 朗人 参議院議員
(元科学技術庁長官・文部大臣、元東京大学総長)
 - 2) 中国側 施 爾畏 中国科学院秘書長
- 10:20～10:30 休憩
- 10:30～11:30 科学技術政策動向 (各 30 分)
- 1) 日本側 井上 正幸 文部科学省科学技術・学術政策局次長
 - 2) 中国側 張 景安 中国科学技術部政策法規・体制改革局長
- 11:30～12:00 事業概要及び中国との協力活動の紹介
独立行政法人科学技術振興機構
- 12:00～14:00 昼食・休憩
- 14:00～14:40 個別テーマ発表 (産業分野)
- 1) テーマ 「廃棄物を中心とした環境技術移転事例」
 - 2) 発表者 日本側 田米 智加之 株式会社荏原製作所海外事業統括副統括
中国側 全 浩 天津日中大学院環境管理研究科教授
- 14:40～14:50 休憩
- 14:50～15:30 個別テーマ発表 (基礎研究分野①)
独立行政法人科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 (CREST タイプ)
- 1) テーマ 「日中共同の脱硫プロセスの開発」
 - 2) 発表者 日本側 定方 正毅 東京大学大学院工学系研究科教授
中国側 徐 旭常 清華大学熱能工程系教授
- 15:30～15:40 休憩

15:40～16:20 個別テーマ発表（基礎研究分野②）

独立行政法人日本学術振興会 拠点大学交流（中国：筑波大学－北京大学）

1) テーマ 「循環型社会の確立を目指した水環境修復技術」

2) 発表者 日本側 前川 孝昭 筑波大学農林工学系長
中国側 唐 孝炎 北京大学環境科学中心教授

16:20～16:30 休憩

16:30～17:30 パネルディスカッション

コーディネータ 合志 陽一 独立行政法人国立環境研究所理事長

パネリスト 定方 正毅 東京大学大学院工学系研究科教授

” 前川 孝昭 筑波大学農林工学系長

” 徐 旭常 清華大学熱能工程系教授

” 周 緯生 立命館大学大学院政策科学研究科 教授

18:00～ レセプション

JST北京シンポジウムの概要

独立行政法人科学技術振興機構

1. 主旨

独立行政法人科学技術振興機構（以下、「機構」）は、中国との科学技術に係る交流を推進する拠点として、2002年8月に北京事務所を開設しました。

機構としては、今後とも、同事務所が日中間の科学技術協力の橋渡しとして機能していくよう努力して参る所存です。

今回、この一環として日中科学技術協力をテーマとしたシンポジウムを開催する運びとなりましたが、機構としては今年度から「環境保全及び環境低負荷型社会の構築のための科学技術」の分野で日中間の協力を推進していくこととしているため、今回のシンポジウムでは「科学技術と環境」を具体的な発表テーマとして取り上げました。

2. 開催要領

(1) 日時

2003年11月11日（火） 9:00～17:30

(2) 場所

新大都飯店 中国北京市西城区車公庄大街21号

(3) テーマ

日中科学技術協力 —科学技術と環境—

3. JST北京事務所の状況

(1) 設立の経緯

2002年4月 中国科学技術部により事務所設立の批准を受ける

2002年5月 事務所開設準備のため所長赴任

2002年8月27日 事務所開設披露宴（於：北京 長富宮飯店）

中国から、徐冠華中国科学技術部部長を初め中国科学院、国家自然科学基金委員会、中国科学技術協会等の関係者の方々、日本から、尾身幸次科学技術政策担当大臣、加納時男文部科学大臣政務官、阿南惟茂在中国特命全権大使他関係者の方々が出席

(2) 活動状況

1) 中国側各機関との連絡、調整

中国科学技術部、中国科学院、国家自然科学基金委員会、中国科学技術協会等

- 2) 国際共同研究「フォトンクラフト」プロジェクトの中間シンポジウム支援
中国科学院上海光学精密機械研究所(SIOFM)との国際共同研究「フォトンクラフト」プロジェクト(2000年~2005年、日本側代表研究者:平尾一之京都大学教授)の中間シンポジウムを2002年10月杭州にて開催
- 3) 戦略的創造研究推進事業における支援、フォロー
中国の大学、研究機関と種々の分野で共同研究を実施中。詳細は本シンポジウムの「JSTの事業概要」にて説明
- 4) 理解増進事業における交流支援
「北京国際科技映像祭 2002 International Science Film Festival」へのサイエンスチャンネル番組出品(2回目)
「2003年北京科学技術週間 科技普及のイノベーションと発展に関する国際フォーラム」における講演
- 5) 戦略的国際科学技術協力推進事業における協力枠組み支援
「環境保全及び環境低負荷型社会構築のための科学技術」の分野で協力を推進
- 6) 日本科学未来館における交流支援
日本科学未来館と中国科学技術館、上海科学技術館をはじめとする中国の科学技術館との交流

以上